



会派代表質問

子育て交流センターの整備、そして 子供達の安全について

創政

森

建二 議員



今会から、一般質問時にプロジェクトとスクリーンを実験的に導入させて頂きます。企業等では一般的に使われる物ですし、言葉だけでは伝わらない事が写真一枚で伝わる事もあるのではないのでしょうか。今後新しい手法について、取り扱いに十分注意して、皆様と相談しながら、活発で合理的な議会運営を皆様と目指します。

今議会では、みどりが丘市有地への「(仮称)子育て交流センター」建設工事に係る契約議案があります。住民が増えながら公共施設が殆ど無い地区にコミュニティ醸成のきっかけを作る施策は正しいと考えます。住民の声を捉え、ぜひ暮らしやすいまちづくりを目指しましょう。今後、も特色のある元気な地方都市を目指して知恵を絞ってまいりましょう。

◎教育行政について

問 公立学校の通学路における安全確保。6月の大阪北部地震で市立小学校のブロック塀が倒れ、児童が亡くなるという痛ましい事件が起こった。文部科学省の通達により、全国の各市町村で通学路のブロック塀等の調査を実施中と聞く。スライドを見て下さい。市内の通学路の壁、今にも崩れそうです。調査状況は。



ブロック塀の事故を未然に防ぐ!!

ロック塀等について、文科省からの通知に基づき調査を行った所、増穂小、大網中、白里中及び白里幼稚園で基準を満たさない物を確認しました。速やかに撤去や補修等の対策に着手し、9月中旬の完了に向け進めております。

通学路におけるブロック塀等については、教育委員会としても、各学校に対して学区内の危険箇所の再確認の調査を指示し、市民等から通報や連絡があった場合は適宜現地を確認し、児童・生徒への安全指導を徹底するように要請しています。調査結果の確認次第、対応方針を決定し、子供の安全確保を優先した通学路の安全性向上対策に鋭意取り組んでまいります。

問 小学生のランドセルの重さについて。某大学教授が都内某地区での調査結果を3月に発表した。この10年間で「ゆとり教育」の影響が教科書の頁数が概ね35%増え、最も重い子で9・7kg、軽い子でも5・7kg、平均7・7kgだったそうです。中には自分の体重の半分近くの物を背負う子がいるとなると、発育への影響、また通学上での危険に繋がる。問題の理解は。

答 近年、児童のランドセルは重くなっていると認識します。一方で学習道具を持ち帰る事は、家庭学習の充実や保護者が学習状況を把握する観点から不可欠です。学校や担任の判断により、持ち帰る必要のない道具を置く場所を設けたり、持ち帰る道具を精選する等の配慮をしています。今後は国の動向等を注視し、適切に対応してまいります。

※その他、(仮称)子育て交流センター整備事業について、小学校のICT教育(2020年からのプログラミング教育の導入)、公立学校エアカン整備の状況、市職員の労働環境改善について質問いたしました。

関連質問

北田 宏彦 議員



問 本市は共有私道の公共下水道整備の際、共有者全員の同意を得る運用をしているため支障が生じている。しかし、法務省など関係官庁は「私道の地下に公共下水管を設置する行為は共有物の管理に当たり、共有者の持ち分の価格に従い、その過半数で決する。従って、共有者の過半数の同意により、公共下水管の設置工事を行うことができる。」とするガイドラインを示している。

増穂郵便局前からわらび台団地と連雀家分譲地との間に水深4・50センチの水路があり、ここに汚泥が堆積して悪臭、ハエ、蚊が発生し、生活環境に重大な影響を及ぼしている。この問題については、わらび台自治会から平成29年、30年に市長宛てに要望書が提出されており「県管理の道路排水と市管理の水路からの悪臭、環境衛生の改善と公共下水道の整備についてお願い」である。

要望に対し、平成29年4月の回答は、「衛生環境の改善にあたっては、公共下水道の整備、私道部分への管渠の敷設が最も効果的であると考えており、引き続き居住不明者への対応を含め、地権者の皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。」平成30年4月の回答では、「汚水管整備につきましては、私道が所在不明者を含め複数の地権者の共有持ち分となっており、現状において整備は厳しい状況となっております。」共有者全員の同意が取得できないから整備は厳しいと回答している。今般、法務省がガイドラインを示したことから、担当課は内規の運用を見直し整備が可能だが、いかが対応するか伺いたい。

答 (下水道課) 取り扱い基準を再考する機会と捉えており、状況を十分把握した上で、ガイドラインを活用し、地区住民の方々と協力し、進めてまいりたい。(建設課)(ガス課)検討してまいりたい。

関連質問

小金井 勉 議員



◎通学路の維持管理、安全確保について

問 主要地方道山田台大網白里線、季美の森入口交差点から宮谷交差点までの区間の維持管理、安全確保について伺います。この区間の歩道上には、慢性的に土砂の堆積があり、また側溝の上にも土砂が堆積しており、排水も機能していない状況にあります。大雨時には側溝のふたから雨水が吹き出し、歩道上の土砂が泥状になり、自転車など通行にとっても危険な状況です。このような状況にもかかわらず、いまだに整備ができていないので、今後の対応をどのように考えているのか伺います。

答 主要地方道山田台大網白里線の維持管理状況につきまして、管理者である千葉県へ確認いたしました。現在の管理状況といたしましては、年1回委託業者において歩道の草刈りを実施しているとのことでございます。しかしながら、歩道上の土砂の堆積や歩道に迫り出している木の枝などにより、通行に支障があると承知しておりますので、適正な管理を行っていただくよう千葉県に再度要望してまいります。

他に主要地方道山田台大網白里線、金谷郷地先の旧道との交差点の安全対策について質問いたしました。



通学路の安全確保と適正な管理を

個人質問

市の図書館と学校図書室の充実を！ 駅前本の貸し出しができる図書館カウンター設置を！

黒須 俊隆 議員



問 7月に石狩市民図書館を視察研修しました。石狩市の人口は5万8千人、本市と人口は同規模ですが、大変素晴らしい図書館を運営しています。設立コンセプトが、「図書館の中にまちをつくる」というもので、一人ひとりの利用者が主人公という考えから、市民図書館という名称になっています。図書館は大変広く、本館の床面積約3千8百平米、蔵書数は32万冊、入館者数も年間24万人、貸し出し件数は55万冊です。常勤職員が8名、非常勤職員が24名、臨時職員2名の体制です。年間運営費は、約1億円、そのうち図書購入費が1千4百万円。一方、大網白里市は、運営費は3千4百万円、図書購入費は8百万円です。本市図書館は、近隣図書館と比べても規模が小さく、蔵書数も新刊本も少ない。市は近い将来に図書館の新設、または大幅なリニューアル等を考えていますか。

答 当面は現在の体制を維持し、それぞれの施設の充実やサービスの向上に努めてまいります。

問 本市の図書館司書の体制はどのようになっていますか。

答 大網白里市図書館には、室長を含め3名の職員が図書館司書の資格を有しております。このほか、6名の図書館司書の資格を有する臨時職員を雇用し、3つの図書室をローテーションで配置しております。

問 図書館長は大変忙しいので、館長を除いて常勤職員の司書が各館に少なくとも1人はいれる体制をとっていただきたい。

答 図書館司書職員の養成に努めるなど、体制の充実とサービスの向上を図ってまいります。

石狩市は、学校図書館運営にも力を入れており、小・中学校に司書を派遣し、学校図書館のコーディネーターを行っています。本市でも司書の数を増やし、学校図書館と本市の図

書館が連携して、学校図書館をリニューアルしていくことを提案します。また、私は小学校PTA読書部で読み聞かせや本の補修の活動を続けていますが、もう少し学校図書室に新しい本を揃える予算をつけていただきたいと思います。

問 東金市図書館は、大網白里市民でも図書館カードをつくることができます。本市も、住所による制限をなくし、近隣市町村住民も本市の図書館カードをつくれるようにし、さらに千葉市や茂原市などとも連携を進めてはかがでしょうか。特に、千葉市あすみが丘分館や土気図書室は本市と近く、千葉市の図書館行政は大変充実しているので、本市の市民が千葉市の図書館カードをつくれるようになれば、市民の利便性は大きく向上します。

答 近隣自治体図書館との連携につきましては、文部科学省でも、これからの図書館サービス実現のために必要な取り組みの一つとして提言されていることから、今後、先方の意向も踏まえ、協議してまいりたいと考えております。

問 以前から、何度も駅前行政サービスの出張所を開設することを提案してまいりました。現在、大網駅高架下のショッピングセンターに空き店舗があり、テナント募集をしています。観光案内や公的書類の申し込み、受け渡しなどとともに、ぜひ世田谷区二子玉川のような図書館予約本の貸し出しカウンターサービスを提供したいと思えます。お考えをお聞かせください。

答 駅前の出張所について、将来に向けまして、図書館サービスだけではなく、どのようなことができるのかどうかにつきまして、関係課が集まって、今後議論していくことを考えています。